

令和5年度学校法人大原学園 事業報告書

1. 法人の概要

学校法人名	学校法人大原学園	認可年月日	昭和39年1月9日
住所	奈良県奈良市富雄元町1丁目13-41	代表電話	0742-47-1111

設置する学校・学部・学科（R5年5月1日現在）

設置する学校	入学定員	収容定員	現員	備考
大原和服専門学園	290	470	32	
研究員ほか	—	—	17	

設置学科名：(家庭専門課程) 和裁科、和裁専攻科、和裁研究科、着物染織科、着物工芸科

■役員の概要等（令和5年3月末日現在） ○理事 定員6名 現員6名

区分	氏名	常勤・非常勤の別
理事長	大原敏敬	常勤
理事	大原健嗣	常勤
理事	吉田季世子	常勤
理事	熊谷宝子	非常勤
理事	黒島敏	非常勤
理事	中川博文	非常勤

○監事 定員 2名以上3名 現員2名

監事	高橋 直嗣	非常勤
監事	多中 祥元	非常勤

○評議員の概要（令和5年3月末日現在） 定員数13名 現員13名

氏名	主に現職
吉田季世子	大原和服専門学園園長補佐 卒業生
酒井道子	大原和服専門学園学務部リーダー 卒業生
村橋恵子	大原和服専門学園 卒業生
谷清美	大原和服専門学園学務部 卒業生
森田智子	大原和服専門学園職員 栄養士
大原加容子	大原和服専門学園職員
熊谷宝子	理事 京都きものコンサルタント協会 理事長
黒島敏	理事 (株)びん工房 代表取締役 京友禅伝統工芸士
大原健嗣	理事長 (株)ayanasu 代表取締役社長
大原文子	大原和服専門学園 卒業生
石井千香子	大原和服専門学園 卒業生
蛸原香代子	大原和服専門学園学務部 卒業生
増田 元絵	大原和服専門学園職員

○教職員の概要（令和5年5月1日現在）（単位：人）

区分	計	
教員	本務	5
	兼務	15
職員	9	

◎令和5年度の経営状況の概観と課題

○高等教育機関をとりまく市況概観

◎高等教育機関への進学について

令和5年度の高校卒業者は前年度より2万8221人減少して96万2009人となった。このうち大学(学部)へ進学した者は54万6498人で、進学率は前年度より1.6ポイント上昇して56.8%となり、過去最高を記録した。短大(本科)進学率は3.4%の3万2946人となり、平成6年度の13.8%をピークに減り続けている。就職者は9437人減の13万6509人。就職率は0.5ポイントダウンの14.2%だった。

一方、専門学校への新規高卒者の進学率は16.2%で15万5916人。進学率は前年度より0.6ポイントダウンした。専門学校の在籍者は前年度より2万6180人減の55万5342人、2年連続減少した。

◎専門学校の入学者は全分野で減少

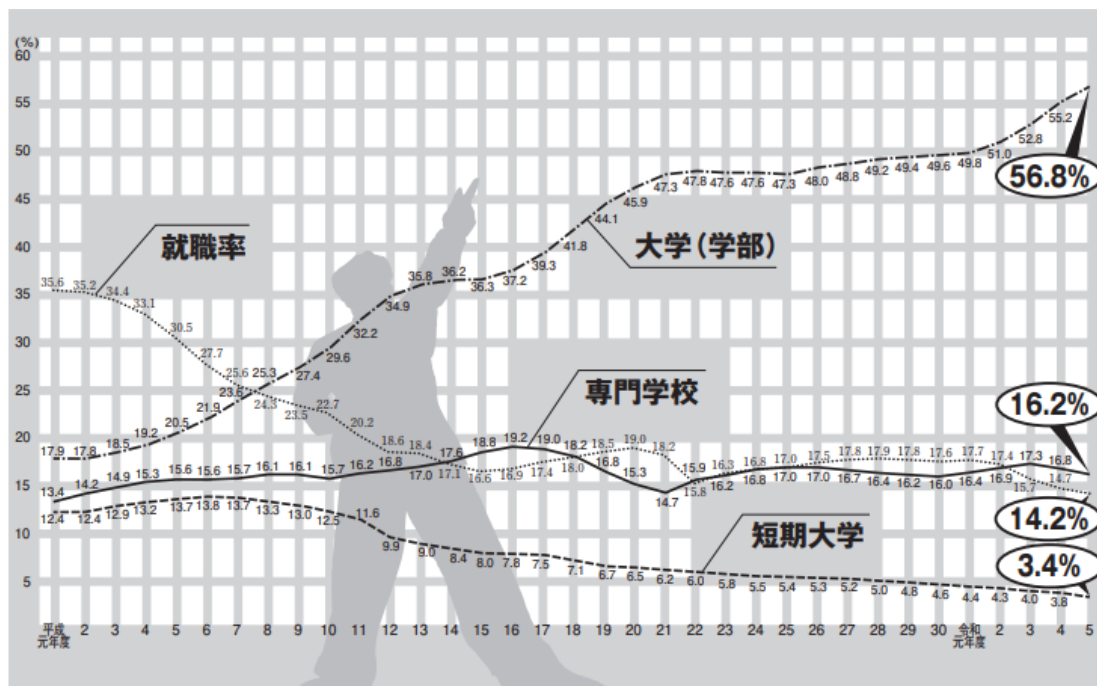
専門学校の在籍者について衛生分野を除くすべての分野で在籍者数が減少した。

すべての分野で前年度より減少し、衛生分野(1016人減)、工業分野(5774人減)、教育・社会福祉分野(1682人減)、農業分野(18人減)、医療分野(6981人減)、商業実務分野(8844人減)、文化・教養分野(701人減)、服飾・家政分野(1164人減)だった。

当学園の分野である服飾家政分野は、1万5753人(H29年)→1万6055人(H30年)→1万6048人(令和元年)→1万6545人(令和2年)→1万5954人(令和3年)→1万4604人(令和4年)→1万3440人で前年より1164人減少となった。

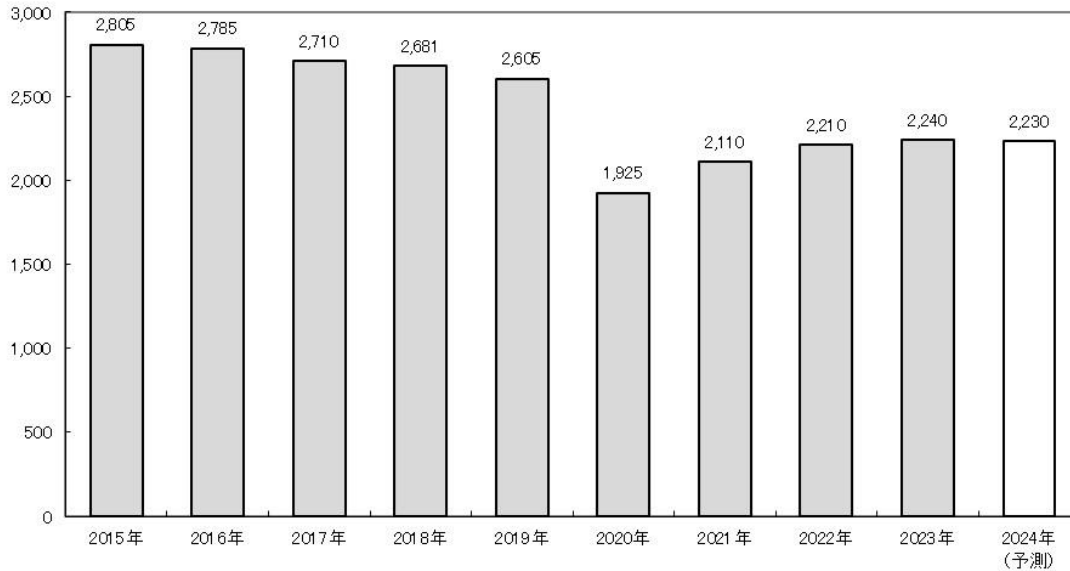
高等教育修学支援新制度(給付奨学金)の創設以降、4年制大学の進学が大幅に増加しており、専門学校・短期大学・就職のいずれもが減少している状況である。専門学校と大学が競合する分野での大学進学が増加している状況であると思われる。今後は少子化がさらにすすんでいることを考えると、中長期的な視点に立った経営改善のため、より踏み込んだ対策を講じていくことが必要である。

当学園としては、特徴ある学園づくりをさらに進め、高等学校新規学卒者以外の大学短大等卒業生、社会人の学び直しや留学生等18歳人口に頼らない入学生の確保も今後ますます重要になってきている。



○着物業界の状況

(億円)



注1. 小売金額ベース

矢野経済研究所調べ

注2. 正絹のきもの、紬類のきもの、帯類、リサイクルきもの他、和装小物、ゆかた、合繊素材のきもの等を含む。
なお、きものレンタルは含まない。

注3. 2024年は予測値

2023年の呉服小売市場規模は小売金額ベースで前年比101.4%の2,240億円と推計となっている。2021年は前年比109.6%の2,110億円であり2020年の大幅ダウンからの回復となった。2022年、2023年の同市場についてもプラスで推移している。

呉服市場は長年縮小トレンドにあるなか、大手小売企業をはじめ各企業はきもの販売以外にも、顧客を囲い込むイベントや日常的に着用できるようなカジュアルきものを提案するなど、独自サービスを展開してきた。

コロナ禍においては先行き不透明な状況が続いていたが、2022年後半以降はコロナワクチンの接種が進んだことで徐々に規制緩和がされた。これにより、中止や延期とされていた催事やイベントが復活し、市場も回復の兆しがみられるようになった。2023年は新型コロナウイルスの感染症区分が5類に移行し、店舗等への客足が徐々に戻り始め、特に百貨店を中心に催事場や呉服売り場に活気が戻りつつあるものの、購買につながるまでには至っていない。

また人手不足が顕著になってきており、人手を確保することができないため撤退するチェーン店もでてくるようになってきている。ここ数年で着物業界では業種を問わず廃業がすすみ、新しい担い手の確保が今まで以上に課題となると思われる。和裁に関しても対応できる事業所が減少しているため、仕立てができる人員の確保ができれば売り上げは増加すると思われる。

そのためには、委託加工契約者など卒業生が仕事として十分な収入が得られる環境をつくること、入学生数の増加や卒業生の委託加工契約者の増加に結び付くと思われる。そのためには、仕立て代の単価UPや学園と連携して関連会社a y a n a s uを連携した独立開業の仕組みの構築を強化する必要があると考えている。

○会務報告

(1) 理事会

第1回 令和 5年 5月31日(水) 14:00～15:05
第2回 平成 6年 3月30日(土) 14:00～15:15

(2) 評議員会

第1回 令和 5年 5月31日(水) 16:00～16:45
第2回 平成 6年 3月30日(土) 10:00～11:00

(3) 学校評価体制の整備

1. 自己点検自己評価委員の実施

学校関係者評価委員会の実施を踏まえた自己点検自己評価を実施。

2. 学校関係者評価委員会の実施

(4) 教育課程編成委員会

和裁分科会及び染織分科会を実施

○教育、授業関連、学科編成 等

(1) 高等教育修学支援新制度の機関要件の認定

令和5年8月に高等教育修学支援新制度の機関要件の認定申請を行い、認定を受けることができた。

(2) 技能大会などの学修成果

1. 技能五輪全国大会

○技能五輪愛知大会(第61回技能五輪全国大会)

会期: 令和5年11月17日(金)～20日(日)

場所: (競技) 愛知県国際展示場 (閉会式) オンライン

2名の在校生・研究員が奈良県代表選手として出場

1名: 金賞 1名: 銀賞を受賞

○技能五輪奈良予選会(第62回技能五輪全国大会)

当学園から4名出場。

会期 令和6年1月29日(月)

場所 大原和服専門学園

2. 第67回全国和裁技術コンクール

学生の状況をふまえて出品を見合わせた。

3. 第16回現代手織物クラフト公募展

着物の部入選 3名 九寸帯の部入選 3名

○着物振興・ものづくり振興活動

本年度は、アフターコロナを見据えて、奈良県職業能力開発協会や所属団体3団体との連携し、厚生労働省の若年技能者人材育成支援等事業・文化庁の伝統文化親子教室事業を実施した。

(1) 和ッザニア in NARA

開催日時：令和5年9月2日(土) 10:00～16:00

開催場所：大原和服専門学園

参加者数：和裁23名、染色20名、織物30名、着付け20名 小中学校生とその保護者の参加

和菓子・フラワー装飾 親子30組の参加

(2) 令和5年度 第33回奈良技能フェスティバル

主催：奈良県職業能力開発協会

開催時期：令和5年11月26日(日) 9:30～16:30

開催場所：奈良県庁舎主棟前回廊・奈良公園バスターミナル

和裁・織物体験の及び、学生作品販売

参加者数：体験数は 和裁：30名、織物24名

(3) 中学校への技能振興活動

令和6年2月9日(金) 橿原市立大成中学校2年生 和裁・着付け体験

令和6年2月2日(金) 奈良市立都祁中学校1年生 和裁・着付け体験

(3) 関係団体との連携による着物振興活動

○奈良県和裁技能士会と連携した「子ども和裁教室」の実施

会場：奈良市音声館 参加人数30名・計10回

5月20日(土)・6月10日(土)・7月8日(土)・8月5日(土)・26日(土)・9月9日(土)

10月21日(土)・11月11日(水)・12月9日(土)・1月13日(土)

作品発表：1月14日(日)～20日(土)

○奈良県染織技能振興会と連携した「子ども染織教室」の実施

会場：大原和服専門学園 参加人数16名

染色体験 8月5日(土)・6日(日)・19日(土)

織体験 9月10日(日)・16日(土)・10月1日(日)・21日(土)

R5年12月8日(金)～31日(日)オンラインでの作品発表

○和装教育国民推進会議奈良と連携した「親子着付け教室」の実施

(西支部) 奈良市2か所 (東支部) 橿原市 (南支部) 天理市 各7回

○就職等進路

就職等進路については、昨年に引き続き希望者全員進路決定をすることができた。

○学園広報活動、学生募集活動等、業界連携活動など

1. 学園広報活動

令和5年度は着物関係のイベントに引き続き、学生の作品の出品及びパンフレットの配布などおこなった。

- (1) きものサロネ2023 令和5年11月4(土)・5日(日)

場所：東京国際フォーラム

学生きもの優秀作品展に学生作品2点出品



- (2) 東京キモノショー 令和6年3月29日(金)～31日(日)

東京・日本橋界隈の間屋街で開催。

メイン会場4会場・サテライト会場16会場 会期中約1万5千人の来場

当学園は、スタイル展に学生作品を出品



- (3) 着物情報サイト「きものつく」運営

令和4年10月に開設したきもの情報サイト「きものつく」の情報更新など行った。

2. 学生募集活動

本年度は体験入学会の実施を中心に対象者に向けた進学イベントを実施した。

- (1) 体験入学会

17回の体験入学会とオンライン説明会を実施した。

5月27日(土)・6月10日(土)・6月24日(土)・7月8日(土)・22日(土)・26日(水)・8月23日(水)・26日(土)・9月9日(土)・30日(土)・10月28日(土)・1

1月25日(土)・12月23日(土)・1月27日(土)・2月24日(土)・3月26日(火)・27日(水)

(2) オンライン説明会

ZOOMを使用したオンライン学園説明

および大原和服チャンネルを開設し、HP内にWEB学園説明の動画にて情報提供を継続した。

(3) 奈良県下高等学校への進学説明

奈良県専修学校各種学校連合会主催 奈良県内専門学校見学説明会

令和5年 5月18日(木) 場所：奈良調理短期大学校 1校の見学体験と10校の学校説明

令和5年11月30日(木) 場所：関西学研医療福祉学院 1校の見学体験と8校の学校説明

奈良県立五條高等学校

令和5年4月25日(火) 担任向けに8校の説明をおこなった。

奈良県立十津川高等学校

令和5年11月29日(水)PM15:50～16:50 担任向けに8校の説明をおこなった。